

更生保護施設での 社会福祉士相談援助実習の報告

日本社会事業大学・ニューサウスウェールズ大学 2024年環太平洋社会福祉セミナー
グローバル時代における日豪のソーシャルワーク実習教育に関する共同ワークショップ

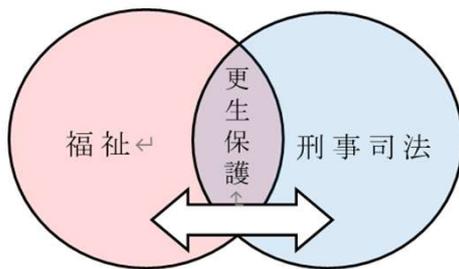
日本社会事業大学
社会福祉学部
福祉計画学科四年
本郷 彩芽

実習テーマ

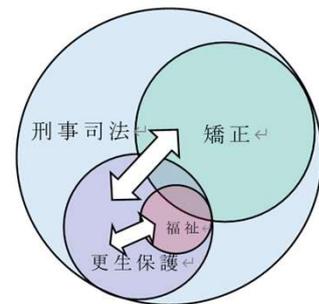
- ①更生保護のジレンマについて：刑事司法と福祉の対立性をどのように両立しているのか。または、葛藤しているのかについて現状を知る。
- ②犯罪と環境の相互作用性について：刑事司法分野で働くことを志望している私にとって、福祉学生としての自己の価値について模索する。

1. 更生保護の立ち位置、その中での福祉専門職の立場

実習前のイメージ - Before



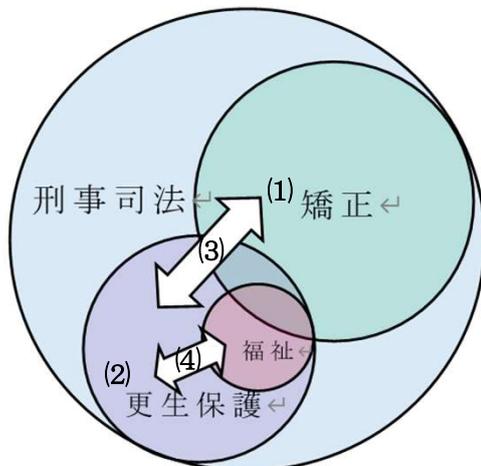
実習後のイメージ - After



3

2. テーマ①更生保護のジレンマ

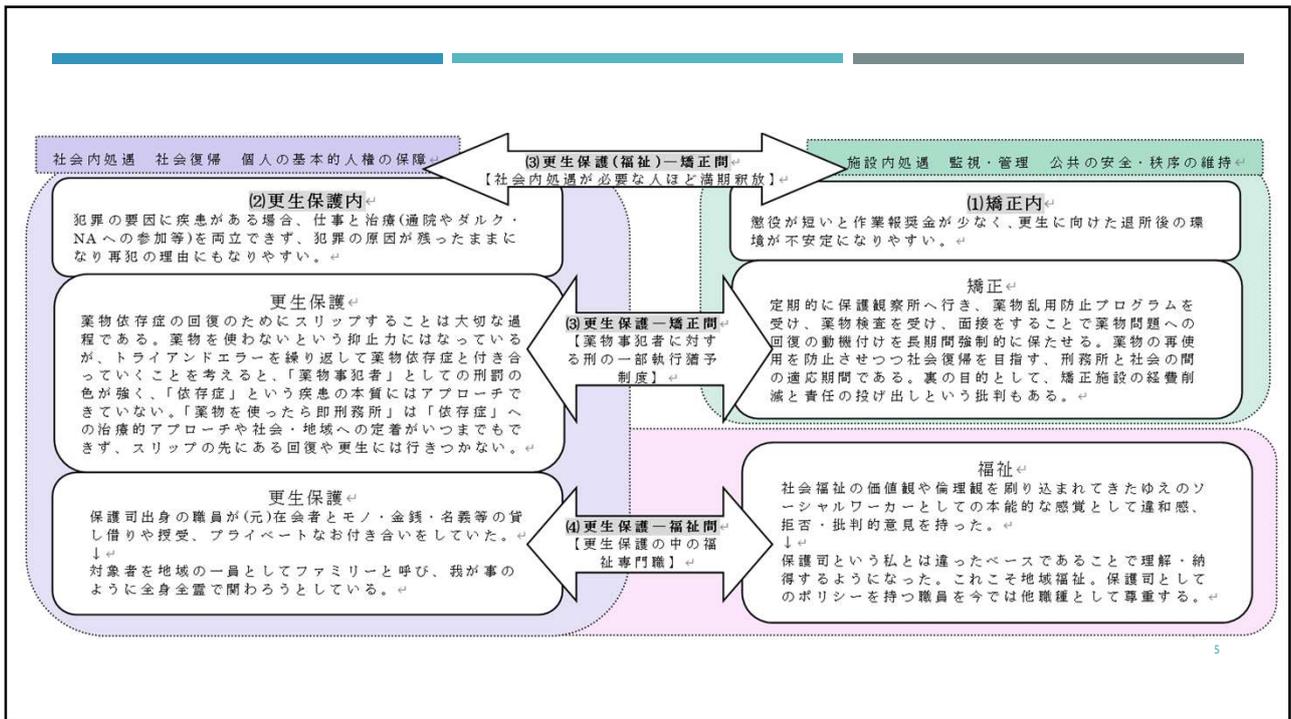
～矯正と更生保護と福祉、4次元のジレンマ～



- (1) 矯正内 (green)
- (2) 更生保護内 (purple)
- (3) 更生保護—矯正間 (purple - green)
- (4) 更生保護—福祉間 (purple - pink)

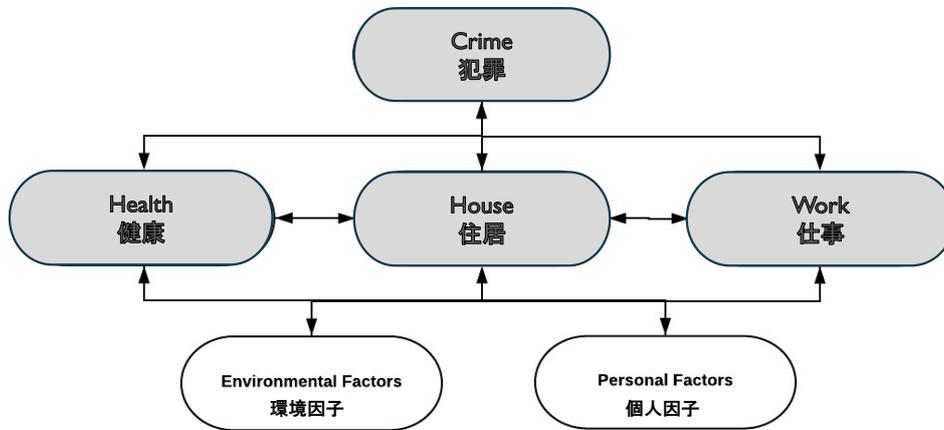
4次元のジレンマ

4

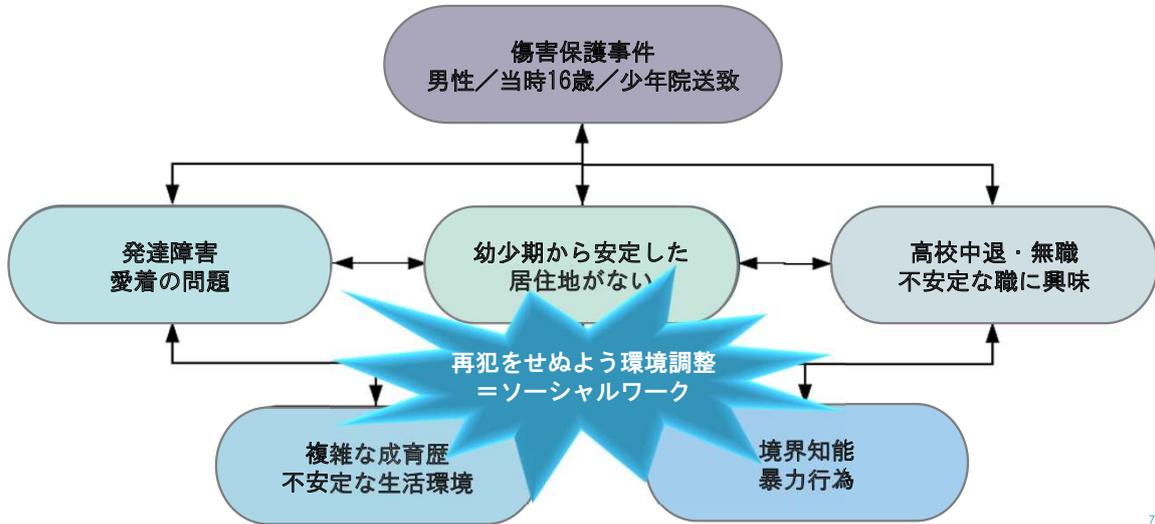


3. テーマ②犯罪と環境の相互作用性

～更生保護におけるICFモデルの応用～



私が実際に出会った非行少年の例



7

実習を終えて（私）

「花束をあげるくらい更生した」

「花束をあげるような人が犯罪をした」

なぜ花束を渡すような人が犯罪をしたのか

—その背景を考え

花束を渡すような人が犯罪をしない

—そのためにはどうしようか



8

実習を終えて（もう一人の実習生）

もっと周りに恵まれていれば

もっとはやい段階で支援の手が届いていれば

刑務所に入る必要はなかったのではないかな？

どの対象者にも共通して感じたこと

社会的孤立、居場所のなさ

犯した罪は間違いなくその人の一部であるが全てではない



9

更生保護施設での 社会福祉士相談援助実習の報告

日本社会事業大学・ニューサウスウェールズ大学 2024年環太平洋社会福祉セミナー
グローバル時代における日豪のソーシャルワーク実習教育に関する共同ワークショップ

ご清聴／視ありがとうございました。